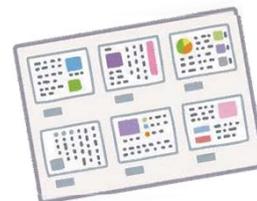


生徒の変容を見取る 評価規準を設定する



ポイント ① 資質・能力を踏まえた単元の目標と評価規準を作成する

単元の目標と評価規準を作成する際は、生徒の実態や地域の特性を生かした上で、新学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）に示されている内容と、以下に示すポイントに沿って設定します。

単元の目標		
単元の目標は、次の4つの要素を構造的に配列して作成 <ul style="list-style-type: none"> ・探究課題を踏まえた単元において中心となる学習対象や学習活動（～を通して） ・単元において重視する「知識及び技能」（～について理解し） ・単元において重視する「思考力、判断力、表現力等」（～を考える） ・単元において重視する「学びに向かう力、人間性等」（～に生かす） 		
単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①概念的な知識の獲得 ②いつでも、滑らかに、安定して、素早く発揮することが可能な技能の獲得 ③探究的な学習のよさの理解 ※文末表現は「～について理解している」、「～を身に付けている」などとして設定します。	④課題設定 ⑤情報の収集 ⑥整理・分析 ⑦まとめ・表現 探究的な学習の過程で育成される資質・能力を生徒の姿として示す。 ※文末表現は「～している」として設定します。	⑧自他を尊重する自己理解・他者理解 ⑨自ら取り組んだり力を合わせたりする主体性・協働性 ⑩未来に向かって継続的に社会に関わろうとする将来展望・社会参画 ※文末表現は「～しようとしている」として設定します。

ポイント ② 内容のまとまりごとに、指導と評価の計画を作成する

設定した内容のまとまりを基に、小單元ごとに指導と評価の計画を作成します。以下のような形式で示すことがポイントです。

小單元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1. ○○について知る（3）	・「○○」の活動を…			⑨	・発言内容
2. △△についての… （8）	・△△の特徴を整理し… ・体験学習から得た…	③	⑥		・発言内容 ・ワークシート

ポイント①で示す単元の評価規準の番号とリンクします

ポイント ③ 生徒の変容や新たな課題を、探究的な過程から見取る

探究的な学習に協働して取り組む中で、継続的に自らの問いや学びの意義を見だし、課題解決に取り組もうとする態度に現れてくると考えることができます。それを見取るために、ワークシートを工夫し、ポートフォリオ形式や、毎時間の感想に継続性をもたせることなどが考えられます。さらに、協働学習などの場面における生徒の発言からも思考の変容を見取ることが可能となります。

また、評価を観点ごと総括することも重要です。活動や学習の過程、作品や成果物、発表や討論などに見られる学習の状況や成果などについて、生徒のよい点、学習に対する意欲や態度、進歩の状況などを踏まえて評価結果を総括します。適切に判断することにより、確かな評価となります。

